

#### 瀋陽駐在員事務所



大連⇄ハルピン高速鉄道外観



瀋陽駅

#### 内陸への交通拠点

先月、大連⇄ハルピン間的高速鉄道（全長 904 km）が開通致しました。在来線では約 9 時間かかっていたものが、約 3 時間に大きく短縮され、瀋陽⇄大連間（約 400 km）は、約 1 時間半程度になりました。乗客の感想によると、揺れも少なく、座席も非常に快適であるとの話です。最低気温がマイナス 40 度を下回る極寒地域を走る世界初の高速鉄道として、技術的にも非常に注目を集めていた路線ですが、現在では、なかなか予約が取れないほどの人気路線になりました。

当地瀋陽には二つの大きな駅があります。一つは「瀋陽駅」。赤レンガ造りの現駅舎は 1910 年に建設。東京駅を設計した辰野金吾氏の弟子である太田毅氏によって設計され、その為、東京駅と瀋陽駅は外観や雰囲気似ているんですね。もう一つは「瀋陽北駅」。一日最大 14 万人もの乗客が利用する東北 3 省最大の拠点の一つですが、駅北側には、韓国資本の「ロッテワールド」が建設中であり地下鉄が接続され、交通拠点、買い物広場として大きく利便性が増す予定です。

当地瀋陽には、陸の交通の要所として大きく栄えてきた歴史があります。経済発展が進む東北 3 省において、瀋陽は交通の要所としてますます発展を続けて行くのではないのでしょうか。

渋川 隆彦

#### (財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室



北京のタクシー

#### 北京のタクシー事情

中国生活が 10 か月経過し、食・文化・風習・人間性等に関しては慣れましたが、未だに慣れない（慣れる気がしない）のが「交通機関」です。通勤・帰宅時のバス・地下鉄はまず乗れませんし、特に不便（不快）と感じるのはタクシーです。北京は初乗り 10 元（1 元=13 円）と、日本と比較しても安く、利用したいところではありますが、走行台数が少なく、雨・雪の日はず空車はありません。

また、昨今の日中関係により日本人客への乗車拒否が多発していると日本メディアでは報道されておりますが、これは今に始まった事ではなく、「俺は東に行きたいから西には行かない」「交代・帰宅の時間だから」「行った事がないから」等の理由により、この 10 か月で何回乗車拒否されたかわかりません。北京では、昨年より乗車拒否等の違法行為を行った場合、1,000～2,000 元（同上）の罰金を科し、また、乗車拒否 3 回で免職になるという法律が施行されましたが、ほとんど効果を成してありません。

どうしてもタクシーに乗りたければ、路上で 100 元札（同上）を振ると乗せてくれるとよく言います。皆さん、北京に来る際は、「ポケットに小銭ではなく札束を」です。



北京のバス

佐藤 孝太郎

## ユジノサハリンスク駐在員事務所



氷上釣りの風景



キュウリ魚

## 生まれて初めての氷上釣り

12月16日(日)に生まれて初めて氷上釣りを体験してきました。朝7時集合、暗闇の中を車でサハリンを南下。以前もこのトピックスでご紹介した“牡蠣島”～「ブッセ湖」に行ってきた。昨年までは寒さが苦手な私としては口実を付けて遠慮させていただきましたが、流石に今年はそうも行かず、自分では可なり厚着をしたつもりでしたが、甘かったみたいです。天候はまずまずだったのですが、湖は遮るものが無いので風が強く、耐えられない寒さでした。

氷の厚さは20～30cm位と最適な厚さになっていました。自分でドリルを使って穴を開け、釣り糸を垂らすこと1時間半経っても1匹も釣れず、爆釣りを期待していた私は話が違ふと思いきや垂らした釣り糸から“ツンツン”と反応が有り、引いてみると何と長さ25cm位の粹のいい“キュウリ魚”が釣れました。寒さを忘れた喜びも束の間、その後は寒さと共に眠気も増し、結局4時間居て3匹の釣果でした。一緒に行った仲間は20～30匹程度は釣っていました。釣りの後は何時ものとおりに、自宅から酒を持ち寄って集まり、釣った新鮮な“キュウリ魚”をそのままフライパンに油をひいて焼いて食べると“最高の美味”以外の言葉が見つかりません。

サハリンの氷上釣りはこれから本番を迎え、1月は“コマイ”、2月は脂の乗った“ニシン”が釣れます。初体験としては予想通りでしたが、私は冬釣りには多分“ハマらない”と思います。

三上 訓人